

# 「令和6年 第52回 練馬区軟式少年野球連盟 新人戦大会」

## 競技上及び審判上の注意事項

＜選手登録の追加は初戦試合開始の前までとし、原本・コピーの2部を本部に提出し、  
審判部役員のサインをもらうこととする。＞

- 1. 先攻後攻**は、両チームの主将がジャンケンで決め、**ベンチ**は抽選番号が若いチームが一塁側とする。  
※但し、決勝戦は、先攻後攻は両チームの主将がジャンケンで決め、ベンチは先攻が三塁側、後攻が一塁側とする。
- 2. チームの集合**は、試合開始予定時間**15分前**とし、大会本部へ**選手登録名簿（原本）**と**メンバー表4枚**（直筆1枚[本部用]、と複写3枚[球審及び対戦チーム、自チーム用]）を提出する。開始予定時間に集合しないチームは、不戦敗とする。（登録選手が9名に満たない場合も同様である。）  
※二試合目以降の場合、前試合の本部で受取をし、先攻後攻はその時点で決める、  
（メンバー表のチェックは当該試合本部で行う）
- 3. シートノック**は行わない  
・前試合一時間経過後から、バッテリー一組とコーチ一名でピッチング練習を可能とする。  
（場所については、審判員の指示に従う。総合グラウンドの場合はC面。）  
・前試合終了後、**10分後**を目処に当該試合を開始する。（その間にアップ、キャッチボールをする）  
※但し、決勝戦は、シートノックを後攻チームから5分行う。
- 4. 準備投球**  
初回に限り1分を限度として5球以内、次回からは3球以内とする。
- 5. イニング**  
試合は5イニングとし、**1時間20分**を越えて新しいイニングに入らない。
- 6. 特別延長戦（タイブレーク方式）**  
試合終了時点で同点の場合は、タイブレーク方式で勝敗を決する。再び同点の場合は、最大2回まで繰り返す。なおかつ勝敗が決しない場合は、両チームの最終メンバーによる抽選で決する。  
※但し、決勝戦については、再び同点の場合、勝敗が決するまで繰り返す。（上限時間は2時間30分とする）  
【タイブレーク方式】無死一塁二塁、継続打順で行う。
- 7. コールドゲーム**  
得点差によるコールドゲームは、3回終了以降8点差とし、降雨・日没は、4回終了で成立とする。  
※但し、決勝戦は得点差によるコールドゲームは適用しない。また、ノーゲームとなった時は再試合とする。
- 8. 背番号**は選手0～20番（主将は10番）、監督30番、コーチ29、28番に統一する。登録はすべて男女を問わず、選手登録は10名以上20名以内とする。
- 9. 試合中にベンチに入れる大人**は、監督・コーチ2名・スコアラーの計4名以内とする。**監督不在時のみ27番着用用のコーチを認める。**
- 10. 服装**については、監督・コーチ・選手は統一のユニフォームを着用する。スコアラーは私服とし、必ずチーム統一の帽子を着用すること。
- 11. 抗議**のできるものは、監督と当該プレーヤーとし、グラウンド内での指示は監督が行う。
- 12. 投手の投球数制限**  
**投手の投球数を一日5年生は70球、4年生以下は60球とする。**
- 13. 捕手のマスク及び金属・ハイコンバット**は、JSBBのマークの入ったものを使用すること。
- 14. 捕手**は危険防止のため、レガーズ・プロテクター・マスク・ヘルメット・ファールカップを着用すること。準備投球時にもレガーズ・プロテクター・マスク・ヘルメットを着用すること。  
※但し、指導者は不要とする。
- 15. ボーク**は一回目から適用する。
- 16. 原則**として全日本軟式野球連盟規定の「野球規則」を準用する。
- 17. グラウンドルール**は主催連盟（練馬区軟式少年野球連盟）審判部の指示に従う。